



加速度計測解析システム

山形県工業技術センターでは、(公財) JKA より競輪の補助を受けて、本装置を導入しました。

1. 幅広い衝撃波の解析が可能

衝撃加速度が 0.1 から 100,000G、作用時間が 0.01 から 99.99 ミリ秒までの衝撃波を解析可能です。また、衝撃波の形状も、正弦半波、台形波、のこぎり波、方形波、三角波の 5 種類について対応可能*です。

*落下衝撃試験装置では正弦半波と台形波のみ試験可能です。のこぎり波、方形波、三角波は解析のみ可能です。



装置外観

2. 新 DBC 試験が実施可能

1 回の試験で複数の損傷境界曲線を作成可能な、新 DBC*試験を実施可能です。下記の多チャンネルであることと合わせて、製品の信頼性試験をより詳細、かつ効率的に実施することができます。

*損傷境界曲線、Damage Boundary Curve: DBC



装置全体図

- 装置概要 -

[型式] 神栄テクノロジー(株)製 SM-500

[主な仕様] 処理可能波形：正弦半波、台形波、のこぎり波、方形波、三角波

計測チャンネル数：12 チャンネル

加速度測定範囲：0.1～100,000G

作用時間測定範囲：0.01～99.99ms

速度変化測定範囲：0.01～99.99m/s

測定誤差：±1%以下

- 利用料金 -

本装置は落下衝撃試験装置の付随装置なので、落下衝撃試験装置の利用料金になります。

受託試験の試験項目：落下衝撃試験 1 試験 1 試料 3,080 円

設備使用の機械及び器具：落下衝撃試験装置 30 分 1,780 円



お問い合わせ先(担当)

山形県工業技術センター置賜試験場 機電技術部 担当 佐藤貴仁

〒992-2473 米沢市窪田町窪田 2736-6 / TEL 0238-37-2424 / FAX 0238-37-2426

E-MAIL : oki@yrit.pref.yamagata.jp